

全教委連第137号
令和6年12月4日

大学入学者選抜協議会座長 殿

全国都道府県教育委員会連合会
会 長 坂 本 雅 彦

「総合型選抜や学校推薦型選抜における学力把握措置の実施にあたり留意すべき事項等について」に関する意見書の提出について

先般、国において開催された「第16回大学入学者選抜協議会」において、総合型選抜や学校推薦型選抜における学力把握措置の実施に係る留意事項等について、関係団体からの意見を踏まえながら議論を進めることとなったことを踏まえ、大学入学者選抜協議会座長から意見照会があった。

については、学校現場等における影響や入学志願者の負担・視点を踏まえた実施内容となるよう、連合会として別紙のとおり意見を提出する。

総合型選抜や学校推薦型選抜における学力把握措置の実施にあたり留意すべき事項等について(回答)

照会事項		意見
<p>現在、各大学が実施している総合型選抜や学校推薦型選抜における学力把握のための措置に関して、改善されるべき点(日程、内容等)は何か ※総合型選抜や学校推薦型選抜それぞれの趣旨や特性を理由として改善されるべき点が異なる場合には、それぞれご回答ください。</p>	<p>(日改善、す 内容き 等点)</p>	<p>共通</p> <p>「令和7年度大学入学者選抜実施要項について」(文科省通知6文科高第299号)の第6の1に「個別学力検査」、第6の3に「小論文、面接、実技検査等の活用」について、それぞれ規定がある。 しかしながら、本来、第6の1に基づく個別学力検査は2月1日以降に実施すべきところ、実質的には個別学力検査と捉えられる内容のものを第6の3に規定する内容として解釈し、2月1日より前に実施している大学が存在する現状があると認識している。 こうした実施要項の記載と実際の取扱いの相違は、受験生等に混乱と誤解を生じさせ、公平性への影響が懸念されることから、国は、大学等に対して、第6の3の規定の意義や内容について改めて周知を図り、実施要項の順守の徹底をしてほしい。</p>
	<p>総合型選抜</p>	<p>事前面談等を本来の出願期間より1か月近く早い段階で実施し、事前面談を終えていることが出願の条件になっているケースが一部の大学で見られ、実質的な早期の学生確保になっている。 生徒の学習期間等の確保の観点から、大学入学者選抜実施要項の遵守の徹底をしてほしい。</p>
	<p>学校推薦型選抜</p>	<p>推薦の対象の有無を事前に高校側に提出させることにより、実質的に選抜日程より早い段階で、高校側での選考を要するケースが一部の大学で見受けられ、実質的な早期囲い込みになっている。 進路指導教員の負担増にも繋がることから、大学入学者選抜実施要項の遵守の徹底をしてほしい。</p>
<p>総合型選抜や学校推薦型選抜において学力把握措置を実施する場合に、例えば、現行の「個別学力検査(各教科・科目に係るテスト)」に加え、総合型選抜や学校推薦型選抜において基礎学力の定着度合いを評価・判定に用いることを目的とする評価方法を新たに整理することも考えられる。 こうした整理の是非や、仮に実施する場合にどのような方法(実施方法、出題範囲やそれを踏まえた実施タイミング等)が適切と考えるか、またどのような点に留意するべきと考えられるか。</p>	<p>変更案</p>	<p>現行の「個別学力検査(各教科・科目に係るテスト)」に加え、「新たな評価方法」を導入するに当たっては、その導入の必要性をはじめ十分な議論が必要である。仮に導入することになった場合は、個別学力検査との違いを明確にするとともに、実施時期や実施方法などを前広に周知していくことが望ましい。また、実施する内容については、高校教育への影響を最小化するとともに、受験生の過度な負担とならない内容とすることが望ましい。</p>
<p>上記のほか、大学入学者選抜の改善を図るという観点から、現行の大学入学者選抜実施要項により定める入試日程や出願書類等に関する御意見</p>	<p>改善点</p>	<p>出願書類について、大学入学者選抜実施要項に基づき「進学用調査書」等を作成している。学校における働き方改革の観点もあり、作成時間の確保のため、例年6月に通知される要項はより早期に公表することが望ましい。</p> <p>調査書の評定平均値について「小数点以下第2位を切り捨て」として取り扱う大学がある。特にその旨を募集要項に記載していない大学があり、高校現場が大学へ確認をしている。募集要項に評定平均値の記載がない大学については、文部科学省が示す「大学入学者選抜実施要項」の通知にある「小数点以下第2位を四捨五入」に統一してほしい。</p> <p>選抜方法によって奨学金や授業料の減免等の金額に差があり、出願後に選抜方法を変更したいと申し出る生徒がいる。募集要項等への記載については、受験生にとってより分かりやすい表記とするなどの工夫をしてほしい。</p>